

# 英語科学習指導案

学 級：1年 組  
場 所： 年 組教室  
授業者：

## 1. 単元名 Unit8 イギリスの本 Part2

## 2. 本時のねらい

持ち主を探す活動を通して、疑問詞 *whose* の用法と所有格について理解し、持ち主をたずねたり、答えたりすることができる。また、仲間の持ち物について、自分の思いを付け加えながら紹介することができる。

## 3. 本時の展開 (第3時/全7時間)

過程	学習活動	研究との関わり
導入	<p>1. Small Talk</p> <p>2. ペア交流をする。(Retelling)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の写真を指し示しながら、本文の内容をペアで伝え合う。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>This book is Kota's. Kota likes <i>Harry Potter</i>. Jane likes <i>Winnie-the-Pooh</i>. This book is Saki's.</p> </div> <p>3. 本時の課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">Whose book is this?</p> <p>お気に入りの本やものについて持ち主を探し、その本やものについて仲間に紹介しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本文を理解する。</li> </ul>	<p>2. 研究内容 1</p> <p>ペアで Retelling を行うことで、本文の内容が理解できているか確認する。</p> <p>5. 研究内容 1</p> <p>ペア交流①で1文付け加えて話していた生徒や、言いたくても言えなかった表現を取り上げ、全体で共有することで、ペア交流②での表現がより豊かにできるようにする。</p> <p>6. 研究内容 2</p> <p>ペア交流①と②の活動を振り返って自己評価をすることで、自己の伸びを実感できるようにする。</p> <p>7. 研究内容 2</p> <p>学習活動2の Retelling を生かして会話することで、身に付けた力を確かめられるようにする。</p>
展開	<p>4. ペア交流をする。(スクランブル) ①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お気に入りの本を書いた紙をランダムに配り、持ち主を探す。</li> </ul> <p>5. 中間評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>+1文で会話している生徒を紹介する。</li> <li>他にどんなことが言えるか意見を出し合い、表現の幅を広げる。</li> </ul> <p>6. ペア交流をする。(スクランブル) ②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お気に入りのものを書いた紙をランダムに配り、持ち主を探す。</li> <li>1文付け加えることで、自分の考えや気持ちを相手に伝える。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S1 : Whose racket is this? Is it yours? S2 : No, it isn't. <b>But I like tennis, too.</b> 【+1文】 S1 : Me too. <b>It's interesting.</b> 【+1文】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価をする。</li> </ul> <p>7. グループ交流をする。(Retelling)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が知り得た仲間の持ち物やその他の情報について、グループの仲間に紹介する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>This racket is Kana's. Kana likes tennis very much. <b>I like it, too.</b> 【+1文】</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><u>評価規準 (表現)</u></p> <p>疑問詞 <i>whose</i> や所有格を用いて、持ち主が誰かをたずねたり、答えたりしている。また、仲間の持ち物について、紹介することができる。</p> <p style="text-align: center;"><b>【観察・ワークシート】</b></p> </div>
終末	<p>8. 本時の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>疑問詞 <i>whose</i> を使うと、誰のものなのかをたずねることができるとわかった。2回目のスクランブルでは自分の考えを付け加えて話すことができた。</p> </div>	